

令和 8 年度 3 学年 国語科 ガイダンスシラバス

担当：多多納秀行

1. 国語を学ぶねらい

- 社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 国語の学習で高めていく資質・能力

- 「知識及び技能」
漢字、文法、漢文・古文視写、暗唱
- 「思考力・判断力・表現力」
 - A「話すこと・聞くこと」
スピーチ・プレゼンテーション・話し合い活動等
 - B「書くこと」
作文課題、単元プリント、書写等
 - C「読むこと」
説明的文章の読み取り・文学作品の読み取り等
- 「学びに向かう力、人間性等」
長期休業中の課題
※「知識及び技能」の観点、「思考力・判断力・表現力」の観点の評価を含む。

3. 学習方法

- ①国語のワーク、文法ワーク、漢字練習ノート、単元プリントなどは見通しをもって繰り返し取り組む。
- ②各種小テストや作文課題はテスト日・提出日を逆算して、質の高い作文になるように、計画的に準備する。
- ③単元プリントには他者の意見や考えに触れながら、自分が文章から何を感じて、どこまで考え、どれだけ自分の言葉でまとめられたかを記して、読解力・思考力を深めていく。

4. 持ち物

国語の教科書、新・基礎の学習、役立つ文法ワーク、漢字ワーク、書写バッグ、ファイル
※書写バッグは必要な時に連絡します。持ち物は全てロッカーに置いてかまいません。
※ファイル用途：受験対策プリントや単元プリント、文法プリントの整理、保管。

5. 学習の評価と方法

- ①「知識及び技能」
 - ・漢字テストは15点満点を基本とする。長期休業明けに50問の漢字テストを行う。
 - ・文法テストは状況に応じて配点し行う。

- ・古文や漢文の視写、暗唱はA○、A、B○、B、C○、Cで評価する。
減点無し（A○）、減点1（A）、減点2（B○）、減点3（B）、減点4（C○）、未完成（状況に応じてC）。

②「思考力・判断力・表現力」

- ・単元プリントの評価「A○、A、A－、B○、B、B－、C○、C、C－、D○、D」
- ・A○は満点、Aは満点に対して9割、A－は8割、B○は7割、Bは6割、B－は5割、C○は4割、Cは3割、C－は2割、D○は1割、Dは0の配点。
- ・提示され課題に全て解答している（BかB－）、*解答の質が高い（A－かB○）、A－の評価を得られる内容でかつ、文章に対する自分の読みが独創的で、論理的に表現できている（AかA○）、内容に不備がある（C○以下）で評価する。

*「解答の質が高い」とは、主に以下の二点が踏まえられているものを指します。

- ①本文の記述や背景知識を根拠にして適切に読み広げられている。
- ②充実した語彙や分かりやすい表現で作られている。

- ・各種作文課題は状況に応じて配点し行う。

- ・話し合い活動の様子、資料はA、B、Cで評価する。Aは満点、Bは満点に対して8割、Cは5割とする。提示した規準を満たしている（B）、より良く満たしている（A）。討論に積極的に参加しない、資料の内容に欠落がある（C）。

- ・スピーチ原稿は話し合い活動の資料と同様に評価する。「3分間スピーチ」は提示した規準が満たされている状態で3分間±3秒（A○）、±5秒（A）それ以外の秒数（B○）A○とA、B○以下はいずれも発表内容により評価する。

③「学びに向かう力、人間性等」

- ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従って取り組もうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・「思考力、判断力、表現力」の観点の内容について、指示に従って取り組もうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。
- ・長期休業中の課題は夏季：「創作俳句、古典ワーク」冬季：「書き初め」とする。指示通りに取り組むと満点。期限を過ぎると減点。

6. 先生からのアドバイス

以下の4点に注意して取り組みましょう。

- ①漢字テストは計画的に勉強し、1・2年で習った漢字の復習も積極的行いましょう。
- ②単元プリントは先生の話や丁寧な聞き、クラスメイトと広く読みを共有しながら、自分の読みをより深めるために活用しましょう。
- ③作文は指示された内容を満たした上で、説得力のある文章になっているか、語彙を豊かに、かつ適切に使えているかを確認しながら書いていきましょう。

- ④志望校のレベルに対してどの力がどれくらい足りていないのかを正確に把握し、計画性をもって粘り強く学習しましょう。

7. 年間学習計画 （学習計画は変わることがあります。）

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	世界はうつくしいと 握手 論語	詩の形式を理解し、主題を読みとることができる 展開や人物像を捉えて読むことができる。 論語の考え方を理解できる。	定期テスト 単元プリント
	5	文法・言葉 作られた「物語」 を超えて	用言の活用について理解できる。 論理の展開における、具体と抽象の関係を捉えることができる。	視写・暗唱チェック 読み取り課題
	6	スピーチ 俳句の可能性 書写	自分の考えを筋道立てて話すことができる。 実用的な文章を読み、内容を評価することができる。 俳句の特徴を理解し、作品を作ることができる。	単元プリント 創作俳句 書写課題
	7		行書の字体を整えて正確に書くことができる。	
2	9	故郷	批判的に読み、社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。	単元プリント 読書会プリント
	10	複数の意見を読んで、考えよう。 批評文	情報を編集して文章にまとめることができる。 文章の内容を批判的に読むことができる。 説得力のある文章を書くことができる。	定期テスト 課題作文 書写課題
	11	話合い 君待つと 夏草 情報の扱い	合意形成に向けた話合いをすることができる。 文章に表れている作者のものの見方、感じ方について考えることができる。 自分の考えを筋道立てて話すことができる。	3分間スピーチ
	12	書写	書き初めの手本を意識して書くことができる。	
3	1	それでも、言葉を 高瀬舟	文章の内容を批判的に読むことができる。 人物像を深くとらえ、読書会で読みを広げられる。	単元プリント 定期テスト
	2	様々な文章に触れる	説明的文章の読解ができる。	学習課題
	3	文法 作文	古典の鑑賞文の読解ができる。 文法を実際の言語生活で意識できる。 自分の考えを筋道立てて書くことができる。	文法テスト

※語彙・漢字の学習は年間を通して行う。

※シラバスの内容は、進度や状況に応じて変更する可能性があります。